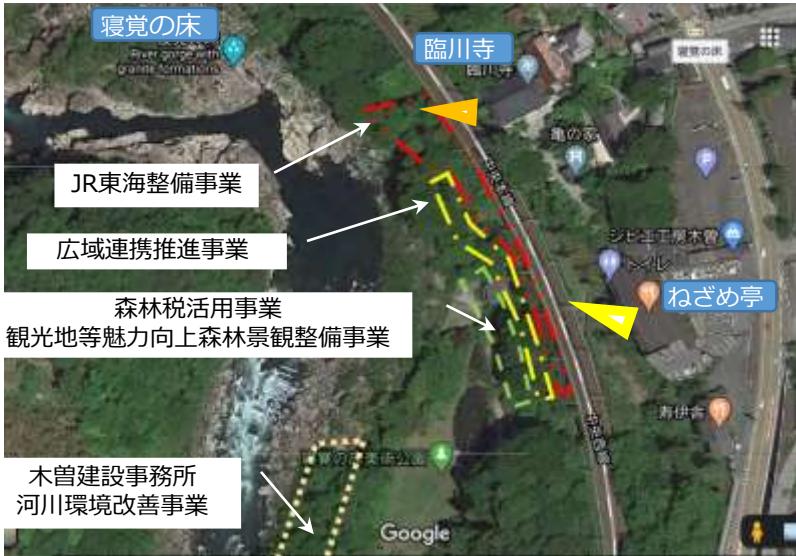


観光地等魅力向上森林景観整備事業(森林税活用事業) について

— 日本遺産 国の名勝「寝覚めの床」周辺眺望景観整備 —

1 背景

上松町の「寝覚めの床」は、大正12年に国の名勝に指定され、日本遺産である木曽路の観光スポットとして、近隣のドライブイン、お寺、JR中央線の車窓などから眺望がよく、特にJR東海 特急「しなの」では、眺望区間を減速して紹介されていた。しかし、近年周辺森林の樹木の成長で眺望がさえぎられる状況となり、樹木の根系による斜面の崩落防止効果を確保しつつ、眺望の回復を行うことが課題となっていた。



整備箇所位置図 (Google mapより)



臨川寺からの眺望



ねざめ亭からの眺望

2 事業内容

(1) 観光地等魅力向上森林景観整備事業 (森林税活用事業)

- 実施年度：令和元年度
- 事業主体：上松町
- 区域面積：約0.05ha
- 事業内容：対象木11本 (内訳 伐倒5本、芯止め6本)
- 事業費：5,467,000円 (補助金：2,000,000円)
- 事業期間：R 2.1.31～3.19
- 事業地の特徴
 - ・ 県立自然公園、保安林の作業許可を取得
 - ・ JRの保線、安全管理に配慮し実施時期を調整
 - ・ 撮影ポイント等、歩道周辺の景観に配慮した処理木の選木及び施業
 - ・ 樹木の根系を維持するため、太枝の芯止めを中心に実施 (斜面崩落防止効果を確保)

(2) 関連事業

- JR東海実施 JR中央線線路周辺整備事業
 - ・ 実施内容：区域面積 約0.15ha、支障木伐採等 34本
- 上松町実施 令和元年度広域連携推進事業 (県立自然公園内)
 - ・ 実施内容：区域面積 約0.05ha、対象木7本 (内訳：伐倒2本、芯止め7本) 事業費 5,478,000円 (補助金：2,739,000円)
- 木曽建設事務所実施 河川環境整備事業(河川内)
 - ・ 実施内容：区域面積 0.2ha、支障木伐採及び刈払い、事業費 7,469,000円

3 実施結果



事業実施状況
高枝の芯止め、株立
木伐採更新



事業実施状況
ビューポイントの撮
影アングルに考慮し
た選木



4 整備の効果



立木でさえぎられていた眺望が改善し、JR東海の車窓、近隣施設から「寝覚めの床」が見渡せるようになるとともに、ビューポイントに配慮した整備で、これまでの公園内からの景観が維持され、観光スポットとしての景観環境が向上した。

5 今後の課題

今回芯止め等を行った立木が今後成長し枝が回復してくることが想定される。そのため、眺望維持のためのこまめな立木管理を継続して実施していくことが重要。